

会員だより

2011年11月 【出雲大社】

一般に旧暦10月を「神無月(かんづき)」と言いますが、出雲では「神在月(かみありづき)」といひます。全国の「八百万の神(やおよろずのかみ)」がここ出雲にあつまつて縁組やいろいろの会議を行います。



旧暦10月10日…神迎祭(かみむかえさい)
10月11日～17日…神在祭(かみありさい)、夜神楽祈禱

10月17日…神等去出祭(からさでさい) 2011年11月5日(土) 19時 稲佐の浜で「八百万の神(やおよろずのかみ)」を迎える神事を見ることが出来ました。

神迎祭(かみむかえさい) 稲佐の浜から出雲大社への約2km。

神々を迎える御神火が焚かれ龍蛇(海蛇)様の先導で神籬(ひもろぎ)に迎えられた「八百万の神(やおよろずのかみ)」に神官、参拝者がおともをして出雲大社までお迎えをする神事です。

神在祭(かみありさい) 出雲大社にお迎えした神々は7日間、十九社で宿泊し「上の宮(かみのみや)」にて神議(会議)をされるといわれています。

ご縁を結ぶ会議 上の宮(かみのみや) という会議所で、神事(幽事、かみごと)、神にすがる信者の願い事や、国の政事など「神縁を結ぶ会議」である「神議り(かむはかり)」にかけて決定します。 神等去出祭(からさでさい)



出雲大社のほかに「神在祭」が行われる神社は朝山神社(あさやま)、日御碕神社(ひのみさき)、万九千神社(まんくせん)の3社あります。 参集された神々は最後に万九千神社に立ち寄り、この地から帰路につかれます。



また、稲佐の浜には「国引き」の島といわれる「弁天島」があります。 H・N

むかご(い)はん

材料

白米2合
むかごカップ1
塩小さじ2

折り紙

♪♪ こんな小春日和の穏やかな日は、
あなたのやさしさがしみてくる
明日嫁ぐ私に苦勞をしても
笑い話に時が変えるよ
心配いらないと笑った ♪♪

大好きな曲。詩を読んでも、歌を聞いても涙が出てくる時がある。

(自分が歌うと泣かないが)

母は農家に嫁ぐ私のために緋の反物でモンペを作って持たせてくれたことを覚えています。

E・H



作り方

1、むかごはすり鉢に少しの水と共に入れゴリゴリ洗います。
この時軍手を使うと手を傷めません。
水が濁るので4、5回水を取り替えます。
これで、むかごの土臭さがなくなりませす。
(空中に出来るむかごなのになぜか土臭い?)
2、普通の水加減に塩を加え、炊飯器で炊きます。もちもちと美味しい懐かしいご飯の出来上がり!
“むかご(零余子)”



きくの露

落ちて拾へば

ぬかごかな

(芭蕉)



この小さな粒の一つ一つに山芋の香りとコクが凝縮されています。噛んで外側の皮をプスツと破ると中のトロツとして、かつ上品な中身が出てきてコクがあります。
「むかご飯」は秋の代表的味覚の一つです。
「むかご取り」は仲秋・生活の季語です。 K・N